

「学童ねあらい」支援プログラム(個別支援計画)

個別支援計画・報告書 前期 ・ 後期  
【放課後等デイサービス】

施設長(補佐)	児童発達支援管理責任者	担当

利用児

○ 支援期間: 令和 7年 4月 1日 ～ 令和 7年 9月 30日 ○サービス提供時間 定期:15時から17時 夏季休暇:9時30分から15時

○ 到達目標	(1)長期(内容、期間等)	前期:学童になれる 楽しく過ごす
○ 家族のニーズ	・ご家族のニーズを確認し記します。	

○ 具体的な到達目標及び支援計画等

項目	具体的な到達目標	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	報告	報告者印
健康・生活 (活動・おやつ準備、健康等)	アセスメント票を参照に目標設定します。	生活のリズムを整え、身の回りのことは自分でできる力・自立につながる力を育てます。基本的な手洗い・うがいの励行、活動の準備や片づけ、掃除などをみんなで行います。	生活場面に おいて6ヶ月	半期に一度(9月・3月)児童のあらわれを担当職員が記入します。	
運動・感覚 (体操、リトミック、消音部屋等)	アセスメント票を参照に目標設定します。	広いグラウンドでドッジボールやサッカー、リレーなどの全身を使った運動等に取り組みます。感覚統合遊具を備えた部屋ではバランス感覚、体の動きをコントロールする経験し心身の育ちを促します。リトミックや音楽あそびも児童の「やりたいこと」をベースに活動しています。	活動、あそびに おいて6ヶ月	半期に一度(9月・3月)児童のあらわれを担当職員が記入します。	
認知・行動 (天気、気温、季節の変化等の把握確認)	アセスメント票を参照に目標設定します。	大むくいの個性や特性に合わせ、手首や活動の環境を配慮します。宿題に取り組む児童は集中して取り組める環境を整えています。また、季節の変化を感じられる行事の実施や制作、水あそびやたき火等の活動を行い、五感が心地よく見えるよう支援しています。	活動、あそびに おいて6ヶ月	半期に一度(9月・3月)児童のあらわれを担当職員が記入します。	
言語・コミュニケーション (会等の機会で気持ちを表出・受容、読み書き、ルール等 絵・絵カードを使い視覚化)	アセスメント票を参照に目標設定します。	ことばだけではなく、絵カード・虫食いカード、写真等をおりませ、手順等を示した活動内容の提示を行っています。順番や交代など自分も周りの人も大切にするコミュニケーションに留意し活動しています。	活動、あそびに おいて6ヶ月	半期に一度(9月・3月)児童のあらわれを担当職員が記入します。	
人間関係・社会性 (役割分担がある協働のあそび、ルールの理解が必要なあそびや 集団活動、地域活動・交流)	アセスメント票を参照に目標設定します。	児童のやりたい気持ちを尊重しながらも「今日はやりたくない」「これならできる」「ま、いいか」等と物事への取り組み・人とのやり取りにおいて、折り合いをつけられる支援を大切にしています。地域散策のゴミ拾いはどの児童も張り切って取り	活動、あそびに おいて6ヶ月	半期に一度(9月・3月)児童のあらわれを担当職員が記入します。	
家族支援  ・家族、兄弟からの相談に対する適切な助言等に応えます。 ・発達の特性に配慮した家庭環境の整えを共に考えます。	移行支援 ・転校、他事業所などへの移行支援を行います。 ・ライフステージの切り替え見据えた将来的な移行に向けた支援をご家庭と共に考えます。学校・放課後児童クラブ等との連携をはかります。	地域支援・地域連携 ・地域とつながる(児童館、地域住民との交流・行事等)情報提供などを行います。 ・学校や医療機関・相談支援事業所等との連携につとめ、支援方法や環境調整に関する共有をはかりお子さんの支援に務めます。	＜加算提供サービス＞ □家族支援Ⅰ(個別面談・家庭訪問) □家族支援Ⅱ(お話会) □関係機関連携Ⅰ(保育所や学校と等と連携し個別支援計画等を作成)、Ⅱ(保育所や学校等とⅠ以外の連携)、Ⅲ(医療機関・児相等との情報連携)、Ⅳ(小学校等との連絡調整及び相談援助) □欠席		

○コメント